



相愛中学校  
相愛高等学校  
SOAI JUNIOR HIGH SCHOOL  
SOAI HIGH SCHOOL

## 相愛中学校・相愛高等学校

〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1番23号

Tel 06-6262-0621

### パートⅠ. 最高責任者による国連グローバル・コンパクトへの継続的支持の表明

ステークホルダーの皆様へ

私は、相愛中学校・相愛高等学校が人権、労働、環境、腐敗防止に関する国連グローバル・コンパクト10原則を支持することをここに確認し、ここに表明いたします。これは、国連グローバル・コンパクトに対する当団体のコミュニケーション・オン・エンゲージメントです。皆様のフィードバックをお待ちしています。

このコミュニケーション・オン・エンゲージメントでは、当団体をはじめとする各種組織に対して提案された国連グローバル・コンパクトおよびその原則を支持するために当団体が行った取り組みについて説明しています。また、当団体の主要なコミュニケーション媒体を通じて、当団体の取り組みを積極的にステークホルダーの皆様に公表していきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

相愛中学校・相愛高等学校  
校長 園城 真生

## パート II. 取り組み状況

### 2019 年

SDGsにおける目標の一つである「質の高い教育」の一環として、平和教育の推進を軸に探究学習や課外行事などを全学的に実施しました。

#### 1. 探究学習

##### ① 中学 1 年、2 年 「探究学習を体験する期間」

中学 1 年は「社会と教科の接続」として、教科学習と地域社会をテーマに、本校の所在する大阪の地域性や食文化などについて探究しました。

- ・大阪クイズ【地形】【食文化】とグループ作り
- ・大阪のミナミの発展に関する動画視聴と夏休みの課題（大阪に関する新聞づくり）の説明
- ・大阪市内の大川を走るアクアライナーから大阪の自然や街並みに触れる
- ・大阪に関する新聞の完成と発表
- ・大阪企業家ミュージアム見学
- ・大阪津波高潮ステーション見学

中学 2 年は平和学習と地域社会を結びつけ、大阪国際平和センター（ピースおおさか）の訪問を通して戦争による被害や恐ろしさを見学した後、グループ発表や掲示発表を行うことにより、「自己表現する充実感の体得」をめざしました。

< 中学 2 年（ピースおおさか訪問） >



## ② 中学3年、高校1年 「探究学習の基礎を学ぶ期間」

(株) 教育と探求社が提供するプログラム「ソーシャルチェンジ」を活用して探究型アクティブラーニングを推進しました。具体的には、「困っている人を見つけてその人を笑顔にする」というテーマのもと、グループに分かれて課題を見つけ、その解決法を議論し、その内容を発表した。このような学習活動を通して、社会の一員としての主体性を育むとともに、課題に対する多角的視点での考察力の習得、他者に対して自己の考え方や想いを表現するためのコミュニケーションスキルを高めることができました。今後はこれらの新しい教育活動の展開をさらにブラッシュアップし、充実させていくことが必要であると考えます。

< 中学3年の様子 >



< 高校1年の様子 >



## ③ 高校2年、3年

高校2年は龍谷総合学園加盟校の龍谷大学において8月に実施されるアクティブラーニング交流プログラム「仏教×SDGs」夏期交流学习への参加に向けて、まずSDGsについてその基礎知識や、実際に社会で動き始めた貢献プロジェクトの事例について学び、その後、グループ毎に自分たちがSDGsに寄与するためのプロジェクトの考案を行いました。その中で相愛高校の代表として選出され、「仏教×SDGs」に参加したグループは、「トイレから生まれる優しい気遣い」をテーマとし、SDGsの目標6「安全な水とトイレを世界に」の実現にむけて、インドを中心とした世界のトイレ事情を調べ、学校周辺で実施した街頭アンケートの結果も取り入れながら充実した発表をすることができました。

< 高校2年の様子 >





## 【仏教×SDGs 夏期交流学习】

8月に龍谷大学で行われた「仏教×SDGs」夏期交流学习は、龍谷総合学園加盟校の高校生が仏教およびSDGsについての学びを深め、国連が定める新たな開発課題と自分たちの暮らしとのつながりを感じながら、「誰一人取り残さない社会」の実現に向けた活動を行うことを目的としています。各校の代表チームが2泊3日の合宿に参加し、協働して探究学習に取り組みました。



高校3年は、校外学習での訪問先である神戸市街に存在する社会課題を生徒自らが見つけ、グループに分かれてその解決に向けた取組みを探究し発表する活動に取り組みました。これらの活動を実施することで、生徒の学習に対する意欲や他者との協調性を育むだけでなく、教員のファシリテート技術をはじめとするワークショップ技能も高めるに至りました。

＜高校3年の様子＞



## 2. 課外活動

### ① 平和学習と国際交流

2019（令和元）年6月に大阪国際平和センター（ピースおおさか）との間で、平和教育に関する連携協定を締結し、その取組みの一環として、高等学校音楽科の生徒が戦争犠牲者追悼式における平和コンサートに出演協力しました。さらに同コンサートで共演した地域合唱団とのつながりから、チェコを代表する少年合唱団“ボニ・プエリ”との交流演奏会を本校にて開催するに至りました。



また、本演奏会では音楽を通じた国際交流だけでなく、相愛学園発行の法語冊子『日々の糧』英語版を同合唱団に紹介、提供することを通して、建学の精神による「自利利他」と「共生」をグローバルに普及するなどしました。



## ② 龍谷大学ビジネスプランコンテスト 「プレゼン龍 2019」 × SDGs

2020年1月に開かれた龍谷大学ビジネスプランコンテスト「プレゼン龍 2019」×SDGs【本選】に、本校から2名の生徒が参加し、龍谷総合学園の部において、高校2年生の山崎 乃碧さんが最優秀賞に、同じく高校2年生の戸根 響巴さんが優秀賞を受賞しました。



## ③ SDGsへの啓発活動

その他、SDGsに係わる諸活動のひとつとして、教室やトイレなどにSDGsの目標をのしるすポスターを掲示するなどし、生徒への周知を図っています。



## 2020 年

2020（令和 2）年度においては、コロナ禍の影響で校外学習や大阪国際平和センター（ピースおおさか）での戦争犠牲者追悼式における平和コンサートへの出演協力、龍谷大学で行われる「仏教×SDGs」夏期交流学習等は中止となりましたが、探究学習については内容を再検討しつつ実施しました。一例としては、「ビジネスアイデア×SDGs」というテーマのもと「"誰一人取り残さない"持続可能な社会」の実現に向けたビジネスアイデアを競う「第 15 回龍谷大学高校生ビジネスアイデアコンテスト」において、高校 2 年生全生徒によるグループ参加をすることで探究学習を継続しました。その成果として、2 グループが最優秀賞と優秀賞を獲得しました。

### 特色ある探究学習の深化

2020 年度は本校の建学の精神の具現化を促す活動として全生徒対象に行っている、SDGs をコンセプトとした探究学習をさらに充実させ、グローバル社会に貢献する女子教育の取組みとして推進しました。特に、中学 3 年と高校 1 年では、(株)教育と探求社のプログラム「ソーシャルチェンジ」を活用し、主体的に学ぶ力、社会課題を発見する力、実社会で使えるコミュニケーション力の向上を図るとともに、生徒の自己肯定感と自信を高めることに努めました。

### 学年ごとの探究学習の取り組み

#### ①中学 1 年

中学 1 年では、生徒のコミュニケーション力を注視しながら、コロナ禍を踏まえて気づいた自己の課題と向き合わせたうえで、2 年以降の探究学習の土台形成に努めました。

第 1 回 探究オリエンテーション

第 2 回 4 月・5 月を振り返って～課題発見～

第 3 回 「困った〇〇さんを助けよう～問題解決～」

第 4 回 様々な分野で活躍されている方々に話を聞こう

第 5 回 SDGs について説明とどのようなことを探究したいかを考える。



## ②中学 2 年

中学 2 年では、SDG s のコンセプトを意識させたいと、「戦争について知る」というテーマで平和学習と組み合わせ、大阪国際平和センター（ピースおおさか）の訪問探究学習を行いました。

- 第 1 回 【戦争について知る①】 学童疎開や大阪空襲について知る
- 第 2 回 【戦争について知る②】 大阪国際平和センター（ピースおおさか）の見学
- 第 3 回 【戦争についてまとめる③】 壁新聞のに向けた情報収集
- 第 4 回 【戦争について得た知識を共有する】 壁新聞の作成と発表
- 第 5 回 【戦争についての知識をさらに深める】 沖縄戦や元ひめゆり学徒たちの体験を学習



## ③中学 3 年

（株）教育と探求社が提供するプログラム「ソーシャルチェンジ」を活用して探究型アクティブラーニングを行いました。『相愛を世界中で有名にするには？』という大きな課題に対し、個人で考えていた企画やアイデアを共有し、一つにまとめていきました。その中には、『世界中に姉妹校をつくる』や『海外の空港にパンフレットを置く』、さらには『制服を着物にする』など、他にもアイデアがたくさん出ていました。それらの企画における問題点・課題点も見つけ、それを解決するアイデアを考えてプレゼンテーションを行いました。

- 第 1 回 ソーシャルチェンジ・オリエンテーションとソロワーク
- 第 2 回 ソーシャルチェンジ「相愛を世界中で有名にする」
- 第 3 回 ソーシャルチェンジ「困っている人を見つけ、助けるには」 ソロワーク
- 第 4 回 ソーシャルチェンジ「困った人を救う」 グループ討論&プレゼンテーション
- 第 5 回 ソーシャルチェンジ プレゼンテーション



#### ④ 高校1年

高校1年生では、探究基礎力の育成を目標にしており、探究する方法・考え方を身につけることを目指しています。「ソーシャルチェンジ」のプログラムでは、世界で起きているさまざまな問題に対してアイデアを出して解決してみようと挑戦する学習で、休校期間中に実施した「ソーシャルチェンジ・個別ワーク版」に引き続き、「困っている人を助ける」をテーマに、学校再開後も学習を進めました。

個人が各自で考えた"困っている人"について、なぜ助けたいのかをグループの他の生徒たちに伝えるスキルを磨きました。また、どのような取り組みを行う時でも、SDGsの達成につながっているかを意識することの大切さも学びました。

- 第1回            ソーシャルチェンジ 個別ワーク版 challenge STEP
- 第2回            ソーシャルチェンジ STEP04-06 SDGs について
- 第3回            ソーシャルチェンジ STEP07-09
- 第4回            ソーシャルチェンジ STEP08-10
- 第5回            ソーシャルチェンジ STEP11-12

- STEP 1            話し合ってみよう（ロールモデルを選ぶ）
- STEP 2            アイデアを企画にする（制作の準備をする）
- STEP 3            はじめてのプレゼンテーション（「出来事年表」を作る）
- STEP 4            困っている人を思う（「気持ち年表」を作る）
- STEP 5            困っている人を助ける（テーマを決める）
- STEP 6            高め合うプレゼンテーション（内容を組み立てる）
- STEP 7            チェンジメーカーを知る（演出を考える）
- STEP 8            ブラッシュアップする（作品を仕上げる）
- STEP 9            最高をめざす（作品を仕上げる）
- STEP 10           プレゼンテーションを作る（作品を仕上げる）
- STEP 11           人の心を動かすプレゼンテーション（プレゼン発表会）
- STEP 12           すべてを振り返る（感想を話し合う）





## ⑤ 高校2年

『大阪の魅力再発見』をテーマとし、新しい発見と学びを体験し、探究の成果を伝える。

- 第1回 『大阪検定』の過去問を解いて、自分の知識を確かめる
- 第2回 【相愛大学の図書館を利用して、図書による情報収集の仕方、信頼性を学ぶ】
- 第3回 【大阪の文化・魅力を発信する団体『熟塾』代表原田彰子氏による講演会】
- 第4回 【大阪の魅力発見フィールドワーク】
- 第5回 【クラスごとに分かれて成果発表をする】



## ⑥ 高校3年

自己の在り方を考え、進路について調べ、考察する学習を通して、自身の進路選択にむけて道筋を立てることができることを目標に、高校生活のなかで身に付けた知識を活用し、今後の生活や社会に適応し、積極的に寄与する姿勢や態度を育む。SDG s についての学びを生活様式や社会活動に繋げ、自発的・創造的な見方の獲得をめざしました。

- 第1回 『進路探究』
- 第2回 『ビジネスとエッセイ』
- 第3回 『エッセイと“学び”』
- 第4回 『社会見学』
- 第5回 『SDG s のまとめ・発表』



### パート III. 成果の測定

「パート II」で紹介したように、本校ではSDG s をコンセプトにした探究学習を 2019 年度から本格的に開始し、2020 年度には全学的により深化させ、計画的に実施しました。

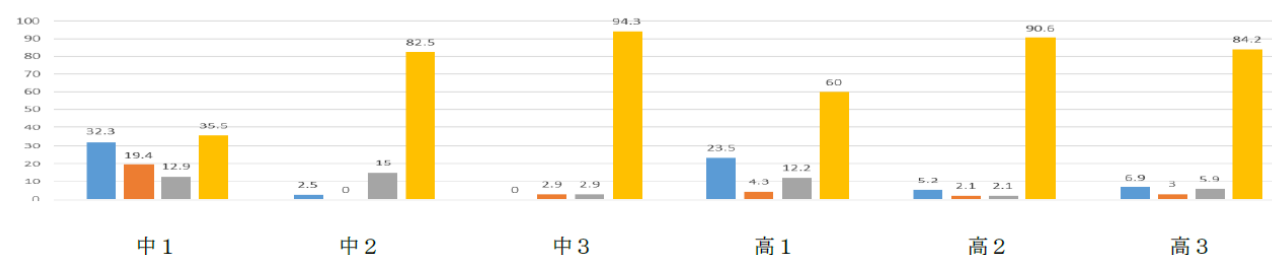
その成果の一例として、2019 年度、2020 年度ともに、龍谷大学ビジネスプランコンテスト「プレゼン龍 2019」×SDG s に、高校 2 年生の授業を通して選抜された 2 名の生徒が参加し、龍谷総合学園の部において 1 名が最優秀賞に、同じく 1 名が優秀賞を受賞するなどし、探究学習を通じたアクティブラーニングにより、グループワークやプレゼンテーションスキルの涵養を図り、SDG s に対する啓発についても全校的に行うことができました。

また、令和 2 年度『龍谷総合学園学校保護者会連合会発表資料』（協議会総合テーマ：「私たちのちかい ×SDG s 2020」）において、学校法人相愛学園後援会がSDG s に関する本校での取り組みに関してアンケート調査を行いました。その分析結果によると、図 1 のように、中学 1 年や高校 1 年の生徒は、相愛中学校・高等学校に入学する前に、家庭や入学前に在籍していた学校においてSDG s という言葉を聞いた生徒もいますが、それ以外の学年については、本校に入学し、SDG s 推進教育活動を通して「SDG s」という言葉を知った生徒がほとんどであると言えます。

図 1：学校法人相愛学園後援会・令和 2 年度『龍谷総合学園学校保護者会連合会発表資料』（問 1）より

（問 1）「SDGs（エスディージーズ）」という言葉をごどのようにして知りましたか？（複数選択可）

■ア：相愛に入学する前の学校で知った ■イ：家族から聞いた ■ウ：テレビや本 ■エ：相愛に入学したあとに学校で知った

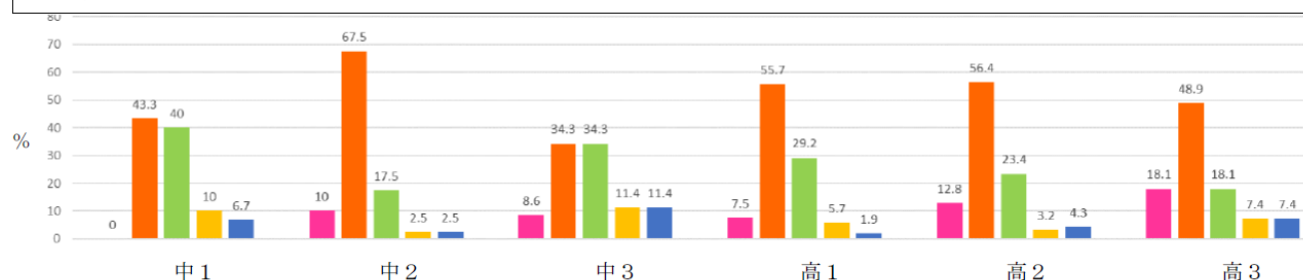


また、同アンケートでは、本校が実施しているSDG s をコンセプトとした探究学習を通じたSDG s への意識向上についても調査・分析が行われていますが、図 2 のように、ほぼ全ての学年において、「非常に高まった」「高まった」と回答する生徒が大半を占めており、本校のSDG s に関する教育活動が、生徒のSDG s への意識づけに一定の成果があると考えられます。

図 2：学校法人相愛学園後援会・令和 2 年度『龍谷総合学園学校保護者会連合会発表資料』（問 7）より

（問 7）SDGs をめざして各学年のテーマで探究学習が行われています。探究学習を通して SDGs への意識は高まりましたか？

■非常に高まった ■ある程度高まった ■どちらでもない ■あまり高まらなかった ■全く高まらなかった



このように本校では仏教の教えにもとづく「自利利他」と「共生」の本質を、主体的かつアクティブに探究する学びを提供し、未来社会を生きる生徒一人ひとりの個性あふれた人間力(キャリアデザイン能力)を育むことを推進してきました。

中学校、高等学校 6 年間を通して計画的に組み立てられた教育により、生徒における主体的学習（アクティブラーニング）やキャリアデザインに対する姿勢だけでなく、将来のキャリアを見据えた進路をめざしての学習姿勢の向上も見られ、高校卒業時には国公立をはじめ有名私立大学などの進学実績も年々伸びてきております。

今後においても上記のようなSDGsをコンセプトとした探究学習や様々な教育活動を推進し、生徒、保護者、教職員をはじめ、地域社会や海外との交流を通して、様々な観点からSDGsに向けた取り組みを継続することで、より質の高い教育をめざします。